

研修会参加者数　89名　アンケート回答者　70名　回収率　79％

**Q４.「口腔ケア」について今日の研修で気付いたり、考えが変わったことはありますか？それはどのようなことですか？**

・口呼吸のデメリット、鼻呼吸の大切さ。

・口呼吸、鼻呼吸について勉強になった。

・鼻呼吸が出来るように、意識することが大切な事。（口腔内乾燥が防げ、感染予防に良い事など）

・入れ歯は食器と同じ考えで、中性洗剤を使って洗えばいいと教えてもらったこと。

・義歯の洗い方について参考になった。

・口腔ケアでキュッキュッと音がするまでやればＯＫと初めて知りました。

・歯磨きの面で言えば、ただ、ごしごし磨けばいいというわけではないということを実感しました。

・具体的なケアの方法。

・子供で試してみようと思いました。あいうべ体操、口腔ケア等。

・意思疎通の難しい方への口腔ケアのやり方を実践を交えて行って頂き、とても勉強になりました。今後いかせるように勉強したいと思います。家人にも適切な指導が出来るようになれば良いと思います。本人が気持ち良いと思えるような口腔ケアが出来たら良いと思います。

・口の開け方。

・口腔ケアの大切さを痛感しました。自分自身のためにもとても有意義な講演、実技、指導でした。

・歯が折れて、根っこが残っていてもきれいに磨かないといけないという事がわかりました。

・色々な道具があること。やり方。

・口腔マッサージ、口腔ケアについて実践で学べた。

・食事介助時にあまり口を開けて下さらない患者様もおられますが、その様な方は、口腔ケアの時も口が開かずやりにくいです。今日の研修で簡単なマッサージなども勉強させて頂き、そういった事が、効果があるのではないかと思いました。現場で活かせたらいいなと思いました。

・マッサージ等、口腔内だけでなくリラックスをさせてあげる方法を知れた事。

・マッサージ等してあげる時間が難しいかなと思いました。

・マッサージを口腔ケアを改善することなど、ポイントが分かって良かったです。

・コップは2ついること（汚れた用ときれい用）

・スポンジブラシの種類によっての使い方を教えてもらえた事。

・口腔ケアは日々の積み重ねであり、業務の中で少しずつ工夫として取り入れていきたいと実感した。

・口を開けない方に対するケアがわかりやすかった。

・意思疎通を図ることが困難な利用者の方に口腔ケアを行っていましたが、口を固く閉じられる方にも無理のない開口の工夫を実践で見せて頂いたので、お互いに気持ち良く口腔ケアを実施していきたい。

・口腔ケアは肺炎の予防につながることを知りました。

・口腔ケアをする時の立ち位置

・やっと新見地域の多職種連携の中で歯科衛生士に光をあてて頂き良かったと思います。

・口腔ケアに関する知識、道具の使い方と注意点、具体的に写真や実演付で説明して頂いて以前から知っていたこと、今回初めて知った事がよく理解出来た。

・あいうべ体操を知らなかった。簡単だと、健康教室や保健指導で勧めていきたい。

・自分の口腔ケアも大切であること。

・あいうべ体操を1回やりかけてやめてしまったので、再び継続していきたい。

・きれいにすることだけでなく、苦痛を取り除くことがまず大切なこと。忘れがちでした。

・入れ歯は食器と同じという考え、洗剤で洗っていいときき驚きでした。口呼吸も勉強になりました。

・一人一人に合ったケアが必要。

・もう少しゆっくりと患者さんに向き合わないと出来ないし、時間のことも考えずにして上げられたらいいと思う。

・訪問歯科診療の利用をもっとできたら。

・義歯が合わないこと?認知症の進行?服薬のせい?等々考察されることです。ひょっとしたら舌のケアが必要かと思います。実行してみます。食事量が増えるように対応してみます。

・口腔ケアについては、実践を見せてもらい、やり方を上手くすれば楽に簡単に家でも取り組むことができるので、利用者にも伝えていく必要があるなぁと思った。（やはり専門家に習うのが一番）

・現場で体の状態を観察しても、口腔内の状態を確認することはありませんし、することも出来ません。なので、利用者さんのヒアリング、モニタリングで気付けていけるように、ある程度の知識がいると思いました。

・実践を交えて非常にわかりやすかった。

・職場で話し合いの場を設けてみたいと思いました。

**Q５.当地域で「口腔ケア」を実践していくには、何が大切だと思いますか？**

・口腔ケアを行える時間的、精神的な余裕。

・口腔内アセスメント、ケアについての知識及び技術の取得と指導。

・多くの方が知識をもって気づけることが大切だと思います。

・口腔ケアの技術の普及。

・口腔ケアが重要、必要という意識と指導者として、内容を広く多くの人に伝えられる場所。

・口腔体操をイベント等で行えたらいいと思います。

・歯科衛生士の方との協力を得て、施設でも実践や研修が出来ればいい。

・専門職の方に来て頂き、定期的に講習会を開く。

・道具や訪問などのサービスなど、情報不足であると思うため、情報を得られる機会が必要と思います。

・本日のような研修をまた行って頂きたい。

・一つのツールとして、サロン（各地域での）やミニデイなどで専門職の講演や実技などをメニューに取り上げてもらう。

・健康な時から口腔ケアを実践すること。

・多職種間の連携による確実な正しい口腔ケア。

・それぞれの事業者や機関での変化をきく、報告する。

・ノウハウの共有。専門職以外の方でも出来ることを、多くの方が出来るようになれば、口腔ケアを実践していけるのでは。

・介助する側、される側が口腔ケアの重要性を理解する。

・正しい口腔ケアの行い方を身に着ける。

・在宅医療での口腔ケアの充実、訪問医の増加。

・現場で直接関わっている人たちが口腔内の異変に早く気付く事が大切だと思います。

・時間を作ること。

・あいうべ体操など、出来ることから実践していく。

・今日のような研修を多くの方が受けられるといい方向へ変わっていくと思います。

・歯科診療所と病院施設との連携です。

・口腔ケアの完成度を高めていく。

・誤嚥性肺炎予防になる。

・丁寧なケアをつづけ、患者様が抵抗なく、無理のないケアをすることが、健康、予防面で大切と思います。

・まずは、健康な人がきちんとケアをすることが大切であると思います。自らがケア出来ていないのに、他人に勧めていくことは出来ないと思います。

・専門職を介護施設や病院に派遣し、ＰＲする。

・関係職員が各所属で、気軽に相談出来たり、学べる機会をもつこと。

・施設、病院、地域など様々な場面で口腔ケアの必要性を実践講座などで普及していくこと。

・医療、介護スタッフ、家族の連携

・口腔ケアの重要性や、口腔ケアの方法を家族に知ってもらう機会を作る。

⇒地域の公民館や愛育委員に口座をひらく。

・歯科の方々との連携

・相談しやすい窓口

・継続出来ない理由、継続出来るための方法を考える。口腔ケアの大切さをわかっても出来ない。その原因を明らかにする。

・広報、一般の人への情報発信

・入院中に指導してもらったり、通所でも歯ブラシを持ってきてもらって口腔ケア練習なんかもレクリエーションの時にすればいいかもしれない。

・スタッフの人数不足で、実践困難なところが問題。入れ歯用の歯みがき粉の使用が少ない。

・市報へのあいうべ体操を。

・専門の方との連携も必要だと思いますが、一番足りていないのはケアに使える時間だなと思います。日々の業務の中で、十分なケアをしていくのは今現在ではなかなか難しいと思いました。

・ひとりひとりに十分な時間をかけてケアするのは大変ですが、今日ならった事を少しでも意識しながら、活かしていければと思っています。自分にも試してみて、出来ることから取り入れてみたいと思います。

・チームワーク、家族の協力

・小さい時からのいろんな団体で啓発、実践していく。たとえば、小学生と高齢者との交流で意見交換とか。

・住民への周知が必要だと思う。（健康な人からの指導）

・介護者自身が実際にみて学習できる場。

・肺炎等のリスクについて周知を行っていくこと。

・正しい知識を地域住民に伝えていくこと。

・研修会を各地域で開いたり、ロコモ体操のように新見iチャンネルに取り上げてもらう。

・本人の意識づけ

・実習した方々が少しずる広めていくこと。

・多くの方が口腔ケアの必要性を知ること。

**Q６.講義の内容や、会議の企画・運営に対するご意見（グループワークの方法など）があればお書き下さい。**

・池田先生のお話をいろいろな地域でしていただきたい。

・実践的な講習で、現場で働くもの、患者様の直接関わる立場として非常に役立った。しかし、口腔ケアを実際に行っていない職種の方々が、今回の講習にどれほどの意義を考えているか「今後に活かしたい」と言われるが、どのように活かしていくのか疑問。実践的講習は今後増えてほしいが、開催されるなら実際の現場の人たちが参加し、波及、普及していかなければ医療、福祉の質は上がらないのでは？

・グループだったので、もっとグループ内の意見交換の時間がほしかったです。

・実践講座では話を聞くだけよりためになったが、口腔内ということで確認することが難しかった。

・今日の実習のような研修がとても勉強になりました。

・ＫＪ法もマンネリ化してきた中で、実践形式で良かった。限られた時間の中で毎回忙しい。（時間がなく、理解をする余裕がなく、進んでいく。）

・動画が残念でした。

・今日のように実践的な内容は大変勉強になりました。グループワークは緊張します。

・今回のように模造紙を使用しない方法も良かったと思います。あいうべ体操の今井彰先生は岡山のオルガで1月25日（月）に講演会があります。是非行ってみようと思います。

・実践がありわかりやすかった。

・ただ講義を聴くだけよりも、実践やグループワークがあると楽しく興味をもって取り組めると思います。また、身に付くと思います。

・実践で良かったです。実際にされている方なので、現場の立場からのアドバイスが良かった。

・口腔ケアの実習はとてもこの時間でおさめるのは難しく講師して下さった歯科衛生士の方も、もっともっと伝えたいことがたくさんあったと思います。1年に1回ではなく何度も口腔ケアをテーマにしていただけたらと思います。

・精神疾患の患者様が多い。

・うつ病、ゲートキーパー等の講義がききたい。

・認知症の方への正しい接し方等企画して欲しい。

・ＭＲＳＡが保菌であっても受け入れが（-）の人よりも困難な印象がある。この地域で感染症の人をどうやって受けいれていくのか「保菌」という扱いをどうとらえていくのかを知りたい。人権問題にもなりかねないと思います。ＡＤＬ自立でも難しそうです。

※同じ内容のご意見はまとめて掲載させて頂きました。